

ポイント

関連する化学物質などの全体像

厚生労働省が室内濃度指針値を定めた化学物質は現在13です。人の健康に影響する室内空気質関連物質には化学物質以外にも、二酸化炭素、一酸化炭素、浮遊粉塵（タバコのけむりなど）、水蒸気（湿度）、浮遊微生物や菌類（カビ、ダニなど）があり、これらにも充分注意しなければなりません。建築基準法の改正で対策が明確になったのは、ホルムアルデヒドとクロルピリホスですが、トルエンやキシレンなどの揮発性有機化合物（VOC）にも配慮することが求められます。

